

絵や工芸に演奏披露  
大学生が合同卒業展  
岡崎で開幕

県内の大学で美術や音楽  
を学んだ学生の卒業制作の  
作品を集めた「もうひとつ



の卒展」が九日、岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘で始まった。十七日まで。大学の卒業展示だけでなく、多くの人に作品を見てもらおうとギャラリーが毎年開催しており、今年で十五回目。愛知教育大、愛知産業大、名古屋芸術大の十三人が絵画や版画、ガラス工芸など二十五点を出品。写真。県立芸術大・大学院の二人は十七日にバイオリンなどの演奏をする。闘病

中の母への気持ちをも、柔らかな半球体と、その中に納めたとげの束で表現したガラス工芸や、星空をバックに走る夜行列車を幻想的に描いたパステル画の作品などが目を引く。

鮮やかな色合いの版画を出品した名古屋芸術大の小原若菜さん(三三)は「他の表現方法をする人と一緒に展示できて刺激になる。それぞれの作風を楽しんでほしい」と話している。

入場無料で十一日は休み。○ギャラリー葵丘〓〇564(57)1451